

便秘外来のかかり方

どの科でもそうですが、一般の外来では患者数が多く、多忙なこともあって、特に再診の場合は、ひとことふたこと、話をしただけで診察は終了というケースがほとんどです。これに対して、専門・特殊外来である便秘外来の場合は、比較的、じっくり診てもらえることが多いでしょう。

実は便秘の治療は、まず、患者さんの訴えを時間をかけて聞くことが不可欠です。話を聞かなければ、病気の程度や原因を探ることはできません。当然、その人に合った治療を計画することもできないのです。ですから、いい便秘外来は、まず、話をしっかり聞いてくれる医師がいることが必要条件です。

さらに、聞き上手な医師であることも重要でしょう。

というのも、いくら昔よりも情報が氾濫はんらんしているとはいえ、特に女性にとって、便秘や下剤依存症の話をすることはやはり恥ずかしいからです。特に重症の患者さんでは、誰にもつらい症状を話せないまま、数年から10年以上も過ごしてきたケースがよくあります。

「一般的な便秘の本に書いてある対処法はひととおりに行ったのに、まったく改善しない」「私

便秘外来での主な問診の内容
(松生クリニックの場合)

- ① それまで服用していた下剤の種類
- ② 下剤の服用量
- ③ 食生活(1日に何回食事をするか、食事の内容など)
- ④ 偏食の有無
- ⑤ 下剤の服用期間
- ⑥ 開腹手術の有無
- ⑦ 自然な便意の有無
- ⑧ 他の疾患や、服薬しつがんなどの有無
- ⑨ 性差による症状(PMSなど)の有無